

日本キャリア教育学会第45回大会(2023年10月29日)

全日制普通科高校における主体的なキャリア発達の促進

- キャリアに関する目標設定と職業理解・自己理解の関連を探る -

福岡教育大学 大学院 教育学研究科(教職大学院)
三苫由美子・西山久子

問題と目的

- ・ 普通科高校を取り巻く状況
- ・ 個に応じた支援のために
- ・ 「基礎的・汎用的能力」の包括的尺度づくり

2

全日制普通科高校の現状

- ・ 高校等進学率98.8%、
うち73.6%が普通科(令和4年度学校基本調査)
- ・ 様々な教育的ニーズや背景のある生徒への教育
(文部科学省,2020)
 - ✓ 社会への円滑な移行に向けた共通の資質・能力
 - ✓ 多様性の保障
 - ✓ 「自立した学習者」として学び続ける基礎の形成

3

全日制普通科高校の現状

社会への移行

専門・総合学科の高校と比べると

職業生活に直結する科目・体験的学習が少ない



特に職業体験等がない場合は、

地域課題探究・教科横断的な学習等はある、

職業人としての自分をイメージする機会が少ない

4

個に応じた支援のために

実社会では…

→ キャリアプランの柔軟な見直し



自律的に進路を選び取る力

5

「基礎的・汎用的能力」の尺度づくり

- ・ 支援の効果検証・改善のために、キャリア発達に関わる能力の獲得状況を分析的に把握したい
- キャリア・パスポートを間に挟んだ定性的評価と共に、定量的な評価も合わせて包括的評価にしたい



「基礎的・汎用的能力」の全体を網羅する尺度はあまりない

6

「基礎的・汎用的能力」の尺度づくり

米国では…

スクールカウンセリングにおけるガイダンス・カリキュラム

学齢期に獲得すべき様々な能力を各領域別に体系的に示す

「基礎的・汎用的能力」

自己分析・自己理解能力

社会形成・人間関係形成能力

課題解決能力

キャリアプランニング能力

7

「基礎的・汎用的能力」の尺度づくり

米国のスクールカウンセリングにおいても先進的な

ミズーリ州包括的ガイダンス&カウンセリングカリキュラム
(西山, 2014)

をもとに、包括的な視点による尺度の作成を行う

キャリア・カウンセリングで試行的調査を行い、活用の可能性を検討する

「自己分析・自己理解能力」

「キャリアプランニング能力」

8